

南北連携の、足がかりとなるか！

今、府内の若手法人経営体が新たな動きを始めようとしている。

南部若手法人と中北部の若手から、「若手同士の意見交流を試みてはどうか」と声が上がったのだ。

そのきっかけとなったのは、京都府が今年度より取り組み始めた南部若手法人経営体と中北部の集落営農の連携事業。その前段として南部と中北部の若手農業者の交流から始められないかというものだ。

すでに山城地域の若手と丹後地域の若手が連携し、法人組織を立ち上げた事例がある。法人化したの

を契機に営業担当を置き、販売ルートの確保や価格交渉を行い、物流の一体化によってコスト削減とともに、販路の拡大に繋がった。

今回の意見交流は、販路確保に加え、生産技術や人材確保の連携も視野に入れている。この連携がどんなものになるかは未知数だが、南部の若手が求める経営規模の拡大や雇用の確保、北部地域が抱える品目選択や生産技術向上、販路開拓など、課題を解決に導く大きなニューウェーブを起こすかもしれない。

この意見交流の場をいち早く実現し、若手同士の連携を成功にさせるためには、それぞれの地域の行政や関係機関の支援も重要だ。農業会議がこれら人と組織をしっかり結びつけていく。

この動きは当事者のみならず府内の集落営農組織への大きな刺激にもなるだろう。「どうすれば連携が可能なのか」「集落はどの

ような態勢を整えて臨めばよいのか」等の課題が明確になれば、必然的に地域での話し合い活動に発展し、それは集落営農組織の再生・活性化のきっかけにもなる。

課題を抱えた集落営農と規模拡大を望む担い手の連携、このような活動が、京都府が目指すべき次世代の集落営農のあり方を方向付けていく。京都府農業の新モデルの誕生を農業会議は積極的に支援していく。



◆イベントガイド◆

開催日	催事名	会場	お問い合わせ
令和元年 11月11日(月)	農地農政相談	福知山市内複数会場	福知山市農業委員会事務局
令和元年 11月21日(木)	山城地域就農相談	京都府田辺総合庁舎	山城北農業改良普及センター (TEL: 0774-62-8686) 山城南農業改良普及センター (TEL: 0774-72-0237)
	<ul style="list-style-type: none"> ◆事前に予約が必要です(相談日の7日前までにご予約下さい) ◆ある程度の就農準備ができています方を相談対象として想定しています。 ◆就農準備がどの程度できているかにより、他の相談機関を紹介する場合がありますので御了承ください。 		

※ 京都府農地中間管理機構では、「FarmBankNews」を(一社)京都府農業会議のHPに掲載しています。
 (一社)京都府農業会議(農地中間管理機構)のホームページからメールアドレスの登録ができます。どなたでもご登録いただけますので、農地中間管理事業に興味のある方、また、活用をお考えの方、お気軽にご登録ください。
 ホームページ URL はこちら <https://www.agr-k.or.jp/~kyoto-j/farmbank/>

農地のことで困ったら農業委員・最適化推進委員に相談しましょう

○農業をしていた親が亡くなったので、相続した農地を貸したい、売りたい。

○農地を近隣の方に耕作してもらっているが、高齢を理由に返したいと言われた。自分ではできないので別の人に貸したい、売りたい。

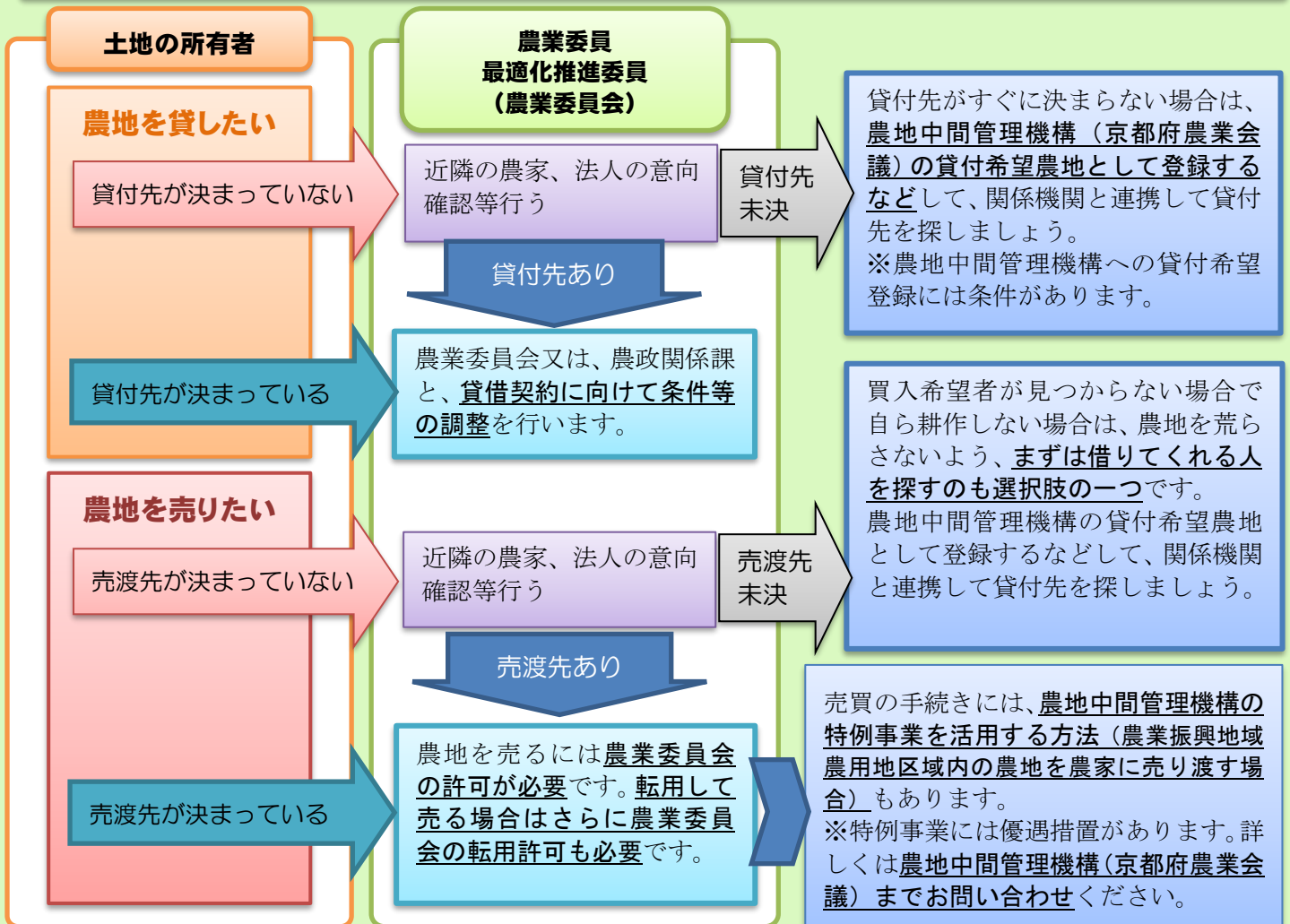
相談

農地のある地区を担当している農業委員がわからない場合は、農地のある市町村の農業委員会に相談しましょう。
農業委員会は市町村役場内に設置されています。

農業委員・最適化推進委員 (農業委員会)

農業委員・最適化推進委員は、**特別職の地方公務員**で、**地域の農家の代表**として、**農地利用の最適化活動**や、**農地転用許可申請の審議**を行っています。

農業委員・最適化推進委員・農業委員会への相談の流れ



農地バンク法の改正により、農業委員・最適化推進委員が地域の話し合いのコーディネーターに位置付けられ、農地利用の最適化に一層力を入れています。農地の貸付先の選定は、担い手の経営状況にも左右されるため簡単ではありませんが、今ある農地を守るため、耕作できなくなる農地の情報は地域の農業委員・最適化推進委員・農業委員会、または農地中間管理機構（京都府農業会議）まで、ご連絡いただきますようお願いいたします。